

令和4年度 保育園の自己評価

令和5年3月31日

園長 山本 昭子

(1)令和4年度総括

年度終わりの頃になるとコロナも落ち着いてきた。コロナ感染者も確認されず、人の動きにも活気を感じた。行事については、コロナを正しく理解し、無駄な部分は省いたり 効率よく進める事が出来て保護者にも喜ばれた。コロナの影響や少子高齢化の波が押し寄せていることを実感する年だった。

(2)評価課題への取り組み

①保育理念・基本方針

保育理念や基本方針を職員間で共有、再確認し、これを指針に日々の保育を行うことができた。

②保育計画（年間・月案・週案・日案）

コロナの感染拡大につながらないように注意しながら、計画した保育はすべて実施することができた。

③個別記録・保育要録

特別支援の対象児の個別記録や小学校に提出する保育要録は指定通りに記録し提出した。

④年間行事（保育参観）

計画した行事はすべて実施した。保育参観はクラス毎に特色を出して実施すると、日々の保育が良く分かるかと保護者に喜ばれた。

⑤保健・安全・環境

コロナの感染拡大を防ぐべく努力した結果、後半は0(ゼロ)になった。5月からは5類に移行するが、手洗い、消毒は心掛ける。毎月の安全点検、環境の整備もしっかり行った。

⑥子育て支援（育児・発達障害・保健）

特に0歳児の親に対しては、育児、離乳食などを指導した。特別な支援が必要な園児には、専門機関と連携を図りながら、親の協力も得ながら改善に努めた。

⑦食育活動（行事食・菜園・アレルギー）

行事食や菜園作りに力を入れると共に、スイカ割り大会やトウモロコシの皮剥きなど、食物と関わる食育活動を多く取り入れた。子ども達が喜んで参加する姿が見られた。

⑧職員会議（自己評価・研修報告・服務規律）

自己評価は毎月全職員行い、自分を振り返り、次のより良い保育につなげた。研修保育は参加した職員だけでなく、報告書を回覧し全職員で共有した。服務規律は年度初めに全職員に周知した。

⑨保育士の研修体系（宮崎市保育会研修部・自主研修）

案内のあったキャリアアップ研修は、勤務をやりくりしてすべての研修を受けることができた。Webなどで気軽に受講できたこともあり、全職員に受講の機会があって良かった。

⑩地域との関わり

コロナで中止になっていた、夏まつり、福祉まつり、文化祭が3年ぶり復活した。久しぶりに地域の方々とも交流ができ、園児も保護者も楽しんだ。

⑪父母の会との連携（保護者会議）

年度初めの入園説明会。各クラス毎に保育参観を行い保護者懇談会の時間を設けた。運動会、クリスマス発表会で保護者の協力を頂くことで交流の機会も増え、園に対する理解も深まった。

⑫苦情解決制度（苦情解決委員会）

今年度は苦情は無かった。保育園の評価アンケートを実施する。新しい保育の導入や工夫した保育の展開内容が少しずつ理解され喜ばれ、満足していることが分かった。

(3)令和5年度の目標、課題

コロナを意識しながらも、ようやく伸び伸びと活動できるようになった。コロナ禍で学んだ事も多く、無駄を省きながら本当に必要な保育が見えてきた。我が園の保育理念・保育方針を見つめ直し、より良い保育を心掛けて行きたい。ケガや事故が無いよう注意しながら、園児には様々な体験をさせたい。